

事務連絡
平成27年11月20日

関係団体の長 殿

国土交通省住宅局建築指導課

建築物調査員等への移行の促進について

日頃より建築行政の推進にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

平成28年6月に施行予定の改正建築基準法においては、定期報告制度を見直し、調査や検査を行うための資格制度を新たに法律に位置付けることとしています。

具体的には、「特殊建築物等調査資格者」、「昇降機検査資格者」、「建築設備検査資格者」（以下「旧資格者」という。）については、新たに講習を受けることなく、「建築物調査員」、「昇降機等検査員」、「建築設備検査員」の資格者証の交付を受けることができます。

一方で、平成28年5月までに新しい資格者証の交付を受けていない場合は、平成28年6月以降は、定期報告のための法定調査・検査を行うことができません。

貴団体におかれましては、旧資格者や旧資格者が所属する会社や団体などに、新資格者への移行について周知を行うよう、ご協力をお願いいたします。

特に、平成27年12月31日までに移行申請がなされない場合は、資格者証の交付時期が平成28年6月以降となる予定ですので、早期の申請を呼びかけるよう、お願ひいたします。

○ 参考1：移行の申請書の提出時期による違い

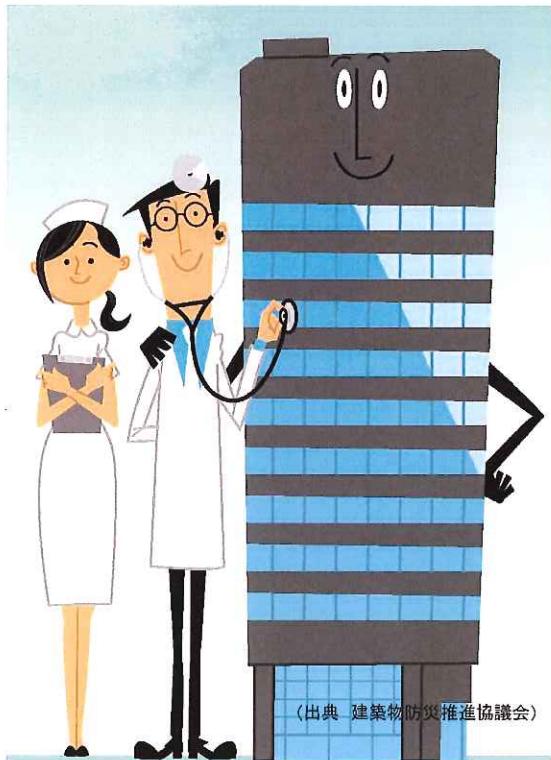
申請書の提出時期	特徴
～平成27年12月31日	・平成28年5月までに資格者証が交付されます。
平成28年1月1日～	・平成28年6月以降、順次、資格者証が交付されます。 ・「旧資格者講習の修了書」の提出が必要になります。

○ 参考2：「定期報告制度ポータルサイト」（移行申請の詳細説明）

http://www.kenchiku-bosai.or.jp/chousa-kensa_05.html

平成28年6月から

定期報告制度が変わります！！



(出典 建築物防災推進協議会)

資格者のみなさまへ

1. 調査・検査の資格制度が 変わります！

特殊建築物等調査資格者・昇降機検査資格者・
建築設備検査資格者のみなさまは、原則、平成
28年6月までに新たな資格者証の交付を受けて
下さい。



特殊建築物等 定期調査報告マーク



昇降機等 定期検査報告マーク



建築設備 定期検査報告マーク

※ 防火設備の検査資格者制度も合わせて新設されます。

平成27年12月末までに申請すると手続きが簡素化されます！

建物所有者のみなさまへ

2. 定期報告の義務の対象が変わります！

◆建築物や昇降機は、定期的にメンテナンスの状況を自治体に報告する
義務があります。

◆平成28年6月以降、報告対象が変わりますので、ホームページをチェックして
ください。



新たな資格者証の交付申請手続きや、報告対象となる
建築物等の詳細は、ホームページをご覧ください
(<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/chousa-kensa.html>)



国土交通省

京都の夏を目標とした住まいにならい、地域型住宅の省エネエネルギーを探る

H28
11/17
Sun
12:00~16:45

ひと・まち交流館 京都 2F 大会議室

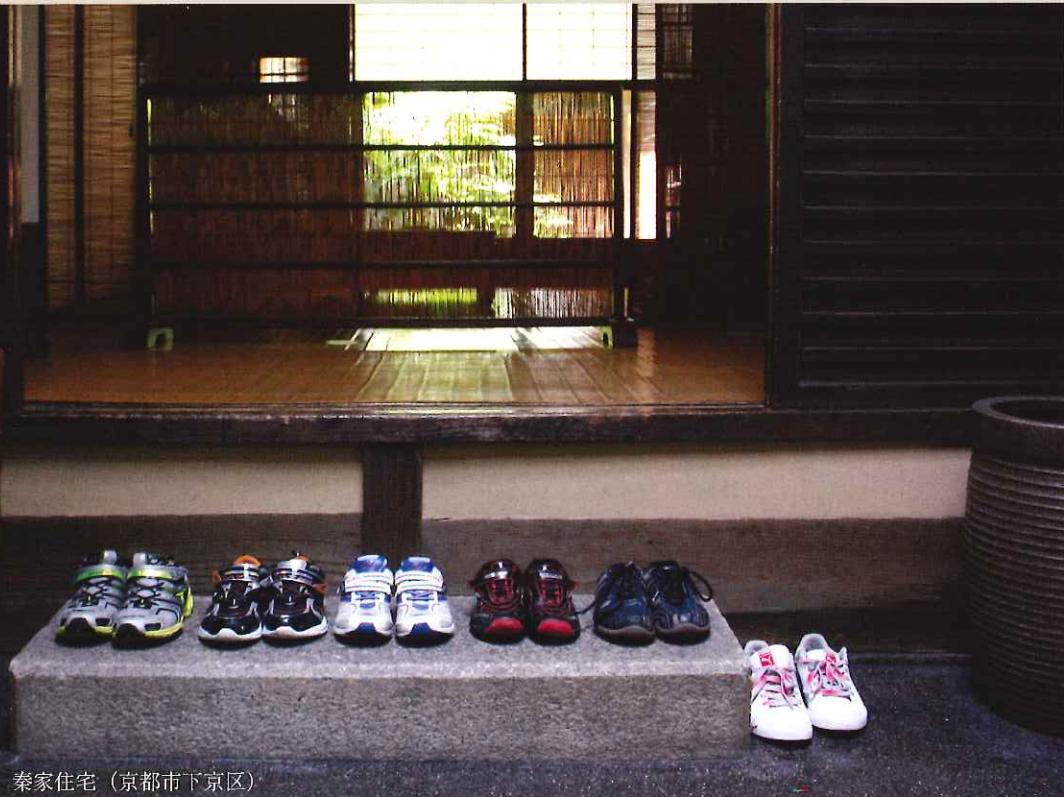
京都市下京区西木屋町通上り口上ル梅藻町83の1
河原町五条下ル東側 『河原町正面』バス停前



2020年に向けて省エネ基準適合義務化の法制化が予定されています。これに対し木造住宅の設計、施工、研究に関する各分野でのさまざまな議論が始まっています。それが日本国中くまなく全ての住宅に適用されるといつゝことは、予想を超える大きな問題をはらんでいるからです。

例えば、耐久性を損なう心配はないのか、地域的多様性が失われる恐れはないのか、居住者の経済的負担はどうするのか。さらに、日本の開放的な住まい方の文化が失われる恐れがあります。このままでは、真壁の土壁造りや土蔵づくりなどの伝統木造も、高い外皮性能が求められることになるでしょう。

このような課題について、広い立場から議論を深め、伝統的木造住宅と省エネエネルギーに関しての問題点を明らかにするといった主旨で開催するものです。



秦家住宅（京都市下京区）

【参 加 費】1,500円 【C.P.D認定】5単位	11:30 開場	京都府建築士会会長 衛藤 照夫
12:00 開会あいさつ 主旨説明	京都建築士会会長 中村 勉	
12:15 基調講演『温暖地型開放系省エネエネルギー』 筑波大学名誉教授 安藤 邦廣		
12:25 事例紹介 簡単な手計算	篠設計工房 篠 節子 古川設計室 古川 保	
京都のはなし 中国のせなし	京都大学助教 伊庭 千恵美 細木建築研究所 細木 茂	
14:30 分科会 └ 資源分科会 └ 技術分科会 └ 生活文化分科会	トヨタヤスム建築設計事務所 豊田 保之 京都大学教授 錐井 修一 秦家住宅 秦 めぐみ	
16:00 パネルディスカッション 16:30 おひぬ 16:45 閉会	京都大学教授 高田 光雄 （敬称略）	

主催
(公社)京都府建築士会・(公社)日本ログハウス協会・(公社)日本左官業組合連合会
(社)日本建築学会・(公社)東京建築士会・NPO法人木の建築フォーラム
後援
京都府・京都市
協賛
(公社)日本左官会議・(公社)日本建築技術保存会・NPO法人日本民家再生協会
(社)日本建築学会連合会・(公社)日本建築士会連合会
平成の京町家コンソーシアム・京都府建築工業協同組合・伝統木造技術文化遺産準備会
これから木造住宅を考える連絡会・住まいと環境東北フォーラム

各分科会の紹介

資源分科会

ファシリテーター 山本晶三(京都府建築士会)

建築の長寿命化という観点から、地域ごとの多様な住宅を生みだす木材資源の活用やその循環的利用、建築材料としての自然素材の耐久性や可能性を話し合い、CO₂排出削減や廃棄物排出削減の基本を問い合わせます。



発表者 豊田 保之

トヨダヤシ建築設計事務所代表 京都造形芸術大学大学院非常勤講師 岐阜県立森林文化アカデミー非常勤講師
1974年生まれ。大阪芸術大学芸術学部建築学科卒業。
代々続く左官職人の家に生まれた経歴から、土壁や漆喰など左官職を生かした家づくりを行っている。

技術分科会

ファシリテーター 加茂みどり(京都府建築士会)

室内温熱環境とエネルギー消費及び生活スタイルの実態をふまえ、伝統的で開放的かつ快適な住宅を追求する立場から、一次エネルギー消費量を評価尺度とする今回の省エネルギー基準への対応について考える。



発表者 銚井 修一

京都大学大学院工学研究科 建築学専攻教授
1951年生まれ 博士(工学) 住宅における室内環境とエネルギー消費、文化遺産の維持・保全、温熱生理と快適性、調湿建材の利用および湿害防止などに取り組む。

生活文化分科会

ファシリテーター 西田教子(京都府建築士会)

日本的な『間』の文化を垣間みることができる伝統的住居の縁側や軒などの装置。それら次世代へ継承するに値する、知恵によって培われた自然との共生や生活観、個と社会との交流の環境について考える。



発表者 秦 めぐみ

18世紀半ばから近年まで薬種業を営んでいた京町家「秦家住宅」の主人。暮らしの息遣いを大切にしながら、その維持・保存に努めている。生活習慣や年中歳時を伝える「くらし体験会」「料理の会」「親子会」を催すほか、一日一組限定の料理『秦家』では季節の味のおもてなしを行なう。

登壇者プロフィール 〈登壇順〉



衛藤 照夫 京都府建築士会会長 建築家

1974年京都大学建築学科卒
設計事務所ゲンプランを経て、(株)ゆう建築設計を設立。病院・福祉施設設計・監理に携わる。木造耐火建築物の設計に取組んでいる。



中村 勉 東京建築士会会長 建築家

1969年東大建築学科卒業 横総合計画事務所 AURコンサルタントを経て中村勉総合計画事務所を主宰 ものづくり大学名誉教授 日本建築士会連合会環境部会長。建築設計を通じ、環境問題への啓蒙、地域の活力を育てる活動をおこなっている。



安藤 邦廣 筑波大学名誉教授 工学博士 建築家

里山建築研究所主宰 NPO木の建築フォラム理事長
1948年宮城県生まれ 九州芸術工科大学芸術工学部環境設計学科卒業 日本の森林資源を活用した板倉の家づくりと地域づくりに取り組んでいる。



篠 節子 篠計画工房 建築家

日本女子大学住居学科卒業 アルセッド建築研究所を経て2009年篠計画工房開設 JIA環境会議伝統的工法のすまいRUにおいて次世代に伝統的工法の住宅を継承するために環境・温熱・省エネ性能の調査研究活動に関わっている。



古川 保 古川設計室 建築家

JIA環境会議伝統工法のすまいRU研究員
1947年佐賀県生まれ
熊本大学工学部土木工学科卒業
熊本市内にて古川設計室を主宰



伊庭 千恵美 京都大学大学院工学研究科 助教

1977年北海道生まれ 京都大学工学部建築学科卒業 同大学院工学研究科建築学専攻修了。専門は建築環境工学で、主に熱と水分を扱う。最近は京町家の温熱環境と省エネルギー、瓦をはじめとする外装材料の劣化対策に取り組む。



細木 茂 細木建築研究所 建築家

JIA四国・中国支部「環境×建築連続セミナー」実行委員会副委員長
1947年高知県生まれ 神奈川大学工学部建築学科卒業 高知市内にて木造を主体とした設計活動をおこなっている。



高田 光雄 京都大学大学院工学研究科 教授

1951年生まれ 博士(工学) 地域の歴史や文化を活かした住まい・まちづくりの実践的研究、少子高齢社会に対応した都心居住空間のデザイン、スケルトン・インフィル方式の住宅ストック再生への適用、集合住宅団地の再生などに取り組む。

公開フォーラム参加申込書

FAX : 03-3456-2067

ふりがな			
氏名	性別	男 / 女	年齢
連絡先 (自宅・勤務先)	勤務先名・学校名		
	〒		
	住所		
TEL :	FAX :	E-mail :	

参加希望分科会（ご希望に○）	資源分科会	技術分科会	生活文化分科会
・連絡方法 : <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> E-mail			
・職業 : <input type="checkbox"/> 設計者 <input type="checkbox"/> 施工者 <input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> その他 ()			
・CPD単位 : <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない (CPD番号又は建築士登録番号 :)			
・所属団体 : <input type="checkbox"/> 建築士会 <input type="checkbox"/> 日本建築学会 <input type="checkbox"/> 日本建築家協会 <input type="checkbox"/> 木の建築フォラム <input type="checkbox"/> その他 ()			

※申込書を2015年12月20日までに日本建築士会連合会宛にFAXもしくはメールで送信をお願いいたします。

申込書の受領後、事務局より受付のご連絡を差し上げます。その後、参加費1,500円を下記振込先へお振込願います。

振込先：三井住友銀行三田通支店 当座 5098339 公益社団法人 日本建築士会連合会 シヤ) ニホンケンチクシカイレンゴウカイ

平成27年度 わが家の

リフォームコンクール 作品募集



住宅リフォームの普及と
リフォーム工事の水準向上を図り、
みなさまの参考にしていただけるような
素敵なりフォーム工事の実施例を募集します。

応募要項

対象

愛知県内で平成25年2月から平成28年1月までの間に工事の完了した、住宅のリフォーム
(増築、改築、模様替えなど居住環境の改善のために行った工事)

応募資格

住宅のリフォーム工事の設計者、施工者又は建築主(連名も可)。
ただし、設計者・施工者が応募する場合は作品の内容及び入賞した場合に作品が一般に公開されることについて建築主(住宅の所有者)の了解・押印が必要となります。

応募作品の作成要領

下記の①～⑥の項目を記入し、A3の用紙2枚に収めてください。
レイアウトは自由。

- ① タイトル
- ② リフォームのテーマと概要
- ③ 特に工夫したポイント等

④ 配置図及びリフォーム前後の平面図

- ・住宅各階平面図にリフォーム部分を明示すること。
(リフォーム部分以外は簡略なもので可)
- ・方位・縮尺を記入すること。
- ・ただし、共同住宅については全体の配置図の省略可。

⑤ リフォーム後の写真

- ・写真の撮影方向、位置を④の平面図に明記すること。
- ・リフォーム前の写真があれば、参考に貼付してください。

⑥ データ

- ・データ(所在地(市町村名のみ)、築年数、建て方、構造・階数、住戸の延べ面積、リフォーム部分の面積、工事期間及び工事完了年月)を記入してください。

(注)応募者が特定できる情報は記載しないでください。

応募期間

平成27年11月9日(月)～平成28年1月12日(火)(当日消印有効)

入賞者の発表

入賞者には直接通知します。

入賞作品の表彰・展示

入賞作品は平成28年3月11日(金)から3月13日(日)まで栄オアシス21で開催される「あいち住まいフェア」の会場内で展示するとともに、表彰します。また、受賞者による作品紹介も開催します。

応募先・問合せ先

Tel 460-0008

名古屋市中区栄四丁目3-26(昭和ビル2階)

(一財)愛知県建築住宅センター内

愛知ゆとりある住まい推進協議会事務局

Tel (052)264-4022 http://www.yutori.gr.jp/



応募上の注意

- 応募申込書に必要事項を明記して、作品に同封してください。
(連名の場合、住所、勤務先は代表者のみで結構です。)
- 一人何点応募されても結構です。
- 応募作品は本協議会の判断により、展示及び雑誌掲載等に利用します。その際、応募作品・タイトル・所在地(市町村名)応募者の氏名、応募者の勤務先(設計者・施工者の場合)は、公表いたします。
- 応募作品が傷まないよう折らずに送付してください。
- なお、お送りいただいた応募作品は返却いたしません。

審査委員

委員長	松山 明	[中部大学准教授]
委員	朝岡 市郎	[(公社)愛知県建築士事務所協会会长]
	杉原 尚子	[(公社)愛知建築土会女性委員会委員長]
	青木 正樹	[愛知県建設団体協議会技術委員]
	浅井 靖典	[あいち住まいフェア 特別委員会委員長]
	宮田 直子	[インテリアコーディネーター]
	毛利 志保	[三重大学助教]

賞

すまいる愛知賞(6点)	賞状及び副賞
特別賞(3点以内)	賞状及び副賞
入選(数点)	賞状及び副賞

※「すまいる愛知賞」には、併せて次の団体の長から賞状を授与します。
愛知県、名古屋市、独立行政法人住宅金融支援機構東海支店、独立行政法人
都市再生機構中部支社、愛知県住宅供給公社、名古屋市住宅供給公社
特別賞には地震対策(耐震改修)・高齢者に配慮した住まい、環境に配慮した
住まいなど特定のテーマに特化して優れた工夫(材料・部材の工夫も含まれ
ます。)等が認められるものに授与します。

主催

愛知ゆとりある住まい推進協議会

共催

中日新聞社、中部経済新聞社

後援

愛知県、名古屋市、独立行政法人住宅金融支援機構東海支店、
独立行政法人都市再生機構中部支社、愛知県住宅供給公社、
名古屋市住宅供給公社

応募申込書

○応募者（連名で応募される場合、氏名以外は代表者についてご記入下さい。）

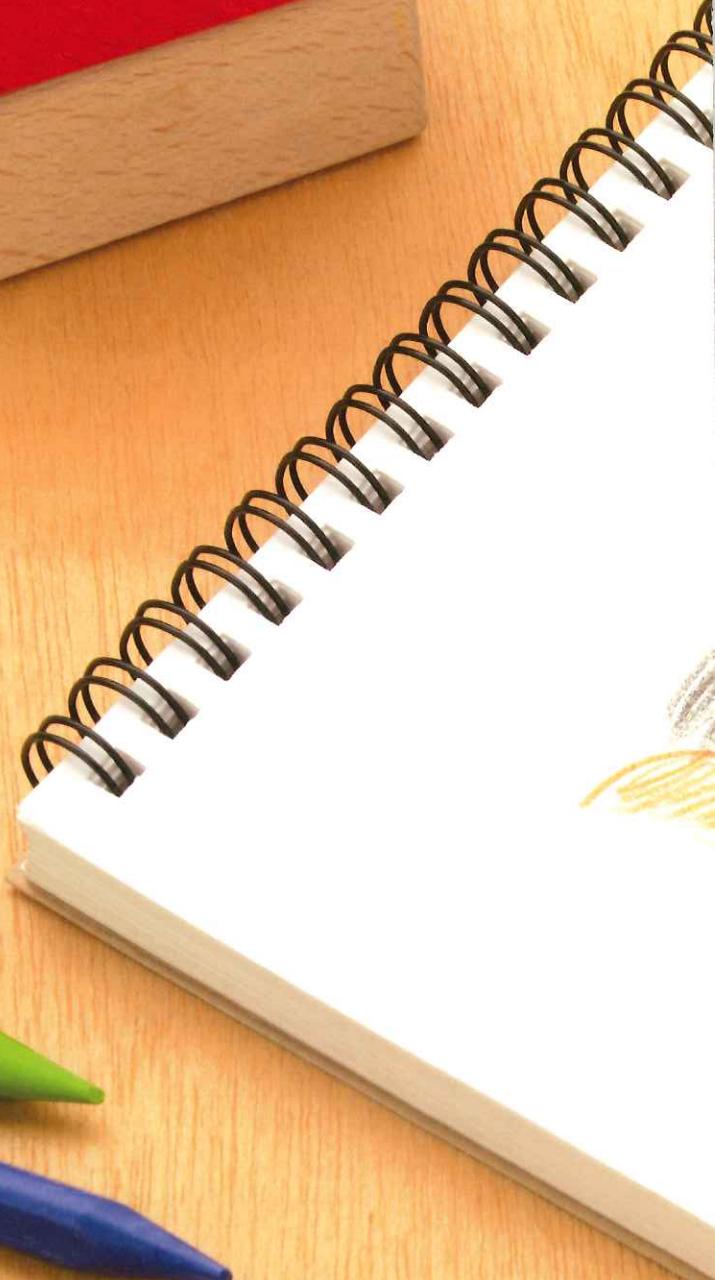
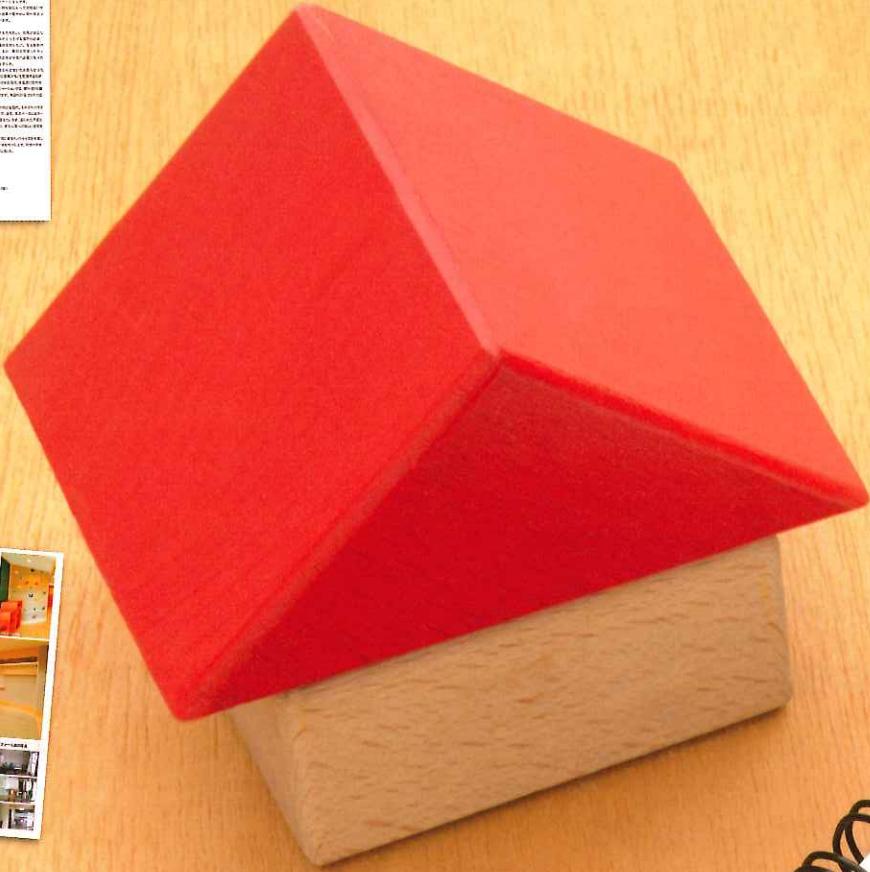
(ふりがな) 氏 名	(連名の場合は代表者に○を付して下さい。)		
住 所	〒		
応募資格	設計者 ・ 施工者 ・ 建築主		
電話番号		FAX番号	
勤務先所在地	〒		
勤務先名称			
電話番号		FAX番号	

○応募作品の概要

(ふりがな) タイトル			
リフォームの テーマと概要	テーマ:		
	概 要:		
所 在 地 (市町村名)			
所有者氏名	印	電話番号	
築 年 数	年	建 方	一戸建 ・ 共同建
構造・階数	造	階建て	
リフォーム前の 延べ面積	m ²	リフォーム後の 延べ面積	m ²
リフォーム 部分の面積	m ²	工 事 費	万円
工事期間	か月	工事完了年月	平成 年 月
増築、改築の ある場合	確認済証:番号、年月日		
	検査済証:番号、年月日		

※ ご記入いただいた個人情報は、審査・入賞時の連絡・主催者からの情報提供に使用します。

また、入賞作品及び受賞者氏名・勤務先は協議会の判断により展示及び雑誌・ホームページ等への掲載など一般に公表します。これ以外の目的では、ご記入いただいた個人情報は使用しません。



主催／愛知ゆとりある住まい推進協議会
共催／中日新聞社、中部経済新聞社



住まいの専門家「住まい手センター」が
住まいづくりのアドバイスをします。
<http://www.yutori.gr.jp/sumaito>